

厚生労働省の対応

健康局 結核感染症課では、
動物由来感染症について以下のような対応を行っています。

一般の方、専門家の方への情報提供

- ホームページ

「厚生労働省」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou.html>

厚生労働省の取り組みや制度のこと等について説明しています。また、各種通知やガイドライン、「我が国の動物の輸入状況」、「飼い犬の登録・予防注射の状況」、「動物由来感染症の発生動向」等の統計情報も紹介しています。

- 動物由来感染症ハンドブック
- 動物由来感染症実務ハンドブック
- ウエストナイル熱リーフレット

専門家の方への対応ガイドラインの提供

- 狂犬病対応ガイドライン2001
- 狂犬病対応ガイドライン2013
- 身体障害者補助犬の衛生確保のための健康管理ガイドライン
- 動物展示施設における人と動物の共通感染症対策ガイドライン2003
- ウエストナイル熱の媒介蚊対策に関するガイドライン
- 犬のエキノコックス症対策ガイドライン2004
- サルの細菌性赤痢対策ガイドライン
- 愛玩動物の衛生管理の徹底に関するガイドライン2006

その他の対応

動物のサーベイランス情報の収集としてウエストナイル熱対策のためのカラスのスポットサーベイランス、その他補助事業や研究等を行っています。



人と動物には共通した病気があることを、
あなたのためにも、動物のためにも知っておきましょう

● 我が国や外国で実際に発生している主な動物由来感染症

群	動物種(昆虫含む)	主な感染症	予防のポイント
ペット動物	犬	パストレラ症、皮膚糸状菌症、エキノコックス症、 狂犬病*1、カブノサイトファーガ・カニモルサス感染症、 コリネバクテリウム・ウルセランス感染症、ブルセラ症	節度ある触れ合い 手洗い等の励行
	猫	猫ひっかき病、トキソプラズマ症、回虫症、Q熱、狂犬病*1、 パストレラ症、カブノサイトファーガ・カニモルサス感染症、 コリネバクテリウム・ウルセランス感染症、皮膚糸状菌症	
	ハムスター	レプトスピラ症、腎症候性出血熱、皮膚糸状菌症、野兔病	
	小鳥	オウム病	
野生動物	爬虫類	サルモネラ症	病気について不明なことも多い ので、一般家庭での飼育は控えるべき
	観賞魚	サルモネラ症、非定型抗酸菌症	
	プレーリードッグ	ペスト*1、野兔病	
	リス	ペスト*1、野兔病	
	アライグマ	狂犬病*1、アライグマ回虫症*2	
	コウモリ	狂犬病*1、リッサウイルス感染症*1、 ニパウイルス感染症*1、ヘンドラウイルス感染症*1	
	キツネ	エキノコックス症、狂犬病*1	
	サル	エボラ出血熱*1、マールブルグ病*1、Bウイルス病*2、 細菌性赤痢、結核	
	野鳥(ハト・カラス等)	オウム病、ウエストナイル熱*1、クリプトコッカス症	
家畜	ウシ、家きん等	Q熱、クリプトスポリジウム症、腸管出血性大腸菌感染症、 鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9)*2、炭疽	適切な衛生管理
	蚊	ウエストナイル熱*1、デング熱、チクングニア熱	
その他	ダニ類	ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、クリミア・コンゴ出血熱*1、 つつが虫病、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	虫除け剤、長袖、 長ズボン等の着用

*1: 我が国で病原体がまだ、もしくは長期間発見されていない感染症。*2: 我が国では患者発生の報告がない感染症

動物由来感染症には、医学と獣医学の分野が協力して対応を進めています

なお、このハンドブック作成には人と動物の共通感染症研究会のご協力をいただきました。

お問い合わせは最寄りの保健所へ